

# 防災備蓄食品の廃棄削減と有効活用

(一般社団法人 日本非常食推進機構 (JEFO))

いつどこで起こるか分からない災害に備え、一人一人の防災力と防災意識を高める活動を行うとともに、防災備蓄を通し、様々な社会貢献活動を行い、防災備蓄食品の廃棄削減と有効活用に取り組んでいる。

## 備蓄食品の有効活用

行政、企業が保有する賞味期限切れ間近の備蓄食品を食品ロス問題として捉え、様々な取組の中で有効活用。

- ・ 全国の社会福祉協議会が実施又は支援する防災啓発活動・生活困窮者支援活動・地域福祉活動
- ・ 全国の子ども食堂
- ・ 日本非常食推進機構団体が主催、又は協力して行う防災啓発活動
- ・ 海外での防災教育及び防災啓発活動

など



食品ロス軽減にご協力下さい！  
防災備蓄食を使ってみませんか？

現在食品ロス量  
年間約 **646** 万トン  
(1950年4月産廃開始)

ムダのない社会づくりの為に協力をお願いします。

**提供品** (例)

- 各種α米
- 保存水
- 缶詰
- ビスケット
- 缶詰パン
- ごはん
- 一般菓子類
- その他の災害用備蓄食品 (賞味期限3ヶ月以上)

**活用例**

- 自治会、町会、団体等が行う防災訓練啓発品として活用
- 子ども食堂、学童保育、放課後等デイサービス事業者等福祉事業者にて活用
- 各地社会福祉協議会が行う福祉事業にて活用
- スポーツ団体等で保存水の活用
- 海外での防災教育教材として活用

備蓄食品等の活用をお考えの方は  
一般社団法人日本非常食推進機構 ☎: 059-337-8147  
☒: white-box-association@nifty.com までご連絡下さい。

職場の倉庫の家庭の防災備蓄品  
有効活用しませんか

6ヶ月以上賞味期限が残っている防災備蓄品  
その他B級商品等「食品」として有効活用いたします。

**活用例**

- 自治会、町会、団体等が行う防災訓練啓発品として活用
- 子ども食堂、学童保育、放課後等デイサービス事業者等福祉事業者にて活用
- 各地社会福祉協議会が行う福祉事業にて活用
- スポーツ団体等で保存水の活用
- 海外での防災教育教材として活用

提供情報は1年前にいただくと(実際の物資提供は6ヶ月前)  
活用先が広がり、活用率が上がります。

送料のみ負担いただけます(予算上限相談可)

簡易報告書作成可

備蓄食品等の活用をお考えの方は  
一般社団法人日本非常食推進機構 ☎: 059-337-8147  
☒: white-box-association@nifty.com までご連絡下さい。

白い小箱運動

「自助」「共助」「公助」の連携で  
助け合いの社会を創り、  
無駄のない個人備蓄を推進します

「白い小箱運動」は、賞味期限切れ間近の備蓄食品を食品ロス問題として捉え、様々な取組の中で有効活用。

白い小箱運動とは？  
白い小箱運動は物資を蓄えるだけではなく、  
「自助」の意識・心を蓄える運動です。

社会貢献につながる「白い小箱運動」

- 障がい者の就労支援と社会参画
- 地域貢献
- 海外貢献・備蓄食品の有効活用

行政・企業が保有する賞味期限切れ間近の備蓄食品を食品ロス問題として捉え、様々な取組の中で有効活用します。

海外には「備蓄」という言葉のない国がたくさんあります。準備した「白い小箱」を賞味期限切れ間近の備蓄食品を「備蓄」という言葉のない国や「白い小箱」を活用した防災・防犯(防犯)教育を行うことで「防災(防犯)の習慣をもう一つ、その国の防災の意識を高める取り組みへと活用します。

防災訓練・各種イベントにて、災害用非常食の試食体験や衛生用品の使用体験を行い、備蓄啓発を行っています！皆さまの地域の自治会・町会・マンション管理組合などでの防災訓練やイベントの際にはぜひお声がけください！

行政との「防災訓練推進」に関する協賛の様子 (自治会主催の防災訓練での試食体験の様子) (防災訓練での備蓄啓発活動)

防災備蓄食品の有効活用実績

2017年度：食品 約10,100食  
保存水 約2,500本

2018年度：食品 約16,500食  
保存水 約65,000本

(海外での活用  
保存水 約65,000本)

防災備蓄食品の有効活用に  
関する覚書締結数

- ・行政 3自治体
- ・上場企業 2企業 ほか多数
- ・社会福祉協議会 55協議会

(2019.4月現在)

<啓発用リーフレット>